



令和6年7月19日
小田原市立東富水幼稚園
文責 宮川 晃

4月8日（月）、年少児（ひよこ組）12名と年長児（すみれ組）13名の計25名の幼児、そして11名の教職員による東富水幼稚園の令和6年度がスタートしました。

入園当初は、初めての集団生活に戸惑っていたひよこ組の子どもたちも、今では1日の流れや当番活動のやり方等を覚え、自分でできることが増えてきました。「今日は何をしようかな」と、自分のやりたいことを見つけようとする気持ちも育ってきています。

すみれ組の子どもたちは、年下のひよこ組の子どもたちにやさしく声をかけて教えたり、「一緒に遊ぼう」と誘ったりすることができています。ひよこ組のみんなを喜ばせようと、すみれ組で製作したマクドナルドのお店やお化け屋敷に招待することもありました。みんな大喜びでした。ひよこ組との交流を通じ、お兄さんお姉さんらしくなってきたなと思います。



始業式



入園式

それでも、時には自分の気持ちを上手に伝えられずに、涙を流したりけんかになったり、もやもやいらいらしたりすることもあるようですが、それも大切な経験の一つです。自分の気持ちをどのように表現したらわかってもらえるのかを考えたり、相手の気持ちを感じ取ったりしながら、共に成長していきます。これからも、子どもたちの伸びゆく姿を、ゆったりと見守り支援していきます。

東富水幼稚園では、

令和6年度の教育目標を

『認め合い育ち合う子どもの育成』とし、

- ★自ら関わることを楽しむ子
- ★粘り強く頑張れる子
- ★自分も友達も大切にできる子

を目指し、指導しています。

また、教育目標を達成するために、園内保育研究会では、

研究主題 『幼児の主体性を育むための教師の資質向上』

サブテーマ ～ 幼児が主役の保育について考える ～

に向かい、全職員で研究を深めています。



重点課題と指導の方針①

『子どもの発達や特性に応じた教育活動』

- 人・もの・ことなど、身の回りの環境に積極的に関わり経験を重ねる活動内容の実践
- 興味関心をもち、試行錯誤しながら学びに向かう芽を培う環境の工夫
- 遊びを通じた、体力・運動能力の向上
- 様々な環境に触れ、五感を通して心の豊かさを育む環境の工夫
- 地球環境や自然環境を活かし、取り入れた遊びの展開
- 栽培、飼育活動を通じた命の学び
- 基本的な生活習慣、衛生習慣の確立
- 安全教育の推進（防災・防犯・交通安全・感染予防等）



あいさつや着替え、お弁当のしたくや後片付け、歯磨きなど、自分のことは自分でできるように、毎日の積み重ねを大切にしながら過ごしています。基本的な生活習慣を身につけるためには、大人の支援だけでなく、友だちと一緒にすることも大切なんです。

6月のあいさつ運動を通じて、気持ちを込めて明るくあいさつすることができるようになりました。「関わる力」を高めるために、これからもあいさつをしっかりとできるようにしたいですね。



幼児期は、遊びを中心にして主体的に人やものなどに関わりながら、総合的にいろいろなことを学ぶ時期です。今学期の子どもたちは、ごっこ遊びが盛んで、プリンセスごっこやお医者さんごっこ、マクドナルドやさんごっこにお化け屋敷など、子どもたちが「こんなのやりたい」「楽しそうだな」と思ったことが次々に具体化し、まるで本物のように作られたものもありました。年少組のコーヒー屋さんで、一杯4千円のコーヒーをいただきましたが、とても美味しかったですよ。



園庭の芝生の上では、子どもたちが元気いっぱい跳ね回っています。ダンスをしたり追いかけっこをしたり、上り棒や太鼓橋、ブランコや滑り台などの遊具を使っての遊びをしたりしています。また、地域の指導者によるサッカー教室を開催したり、プールを使っての水遊びをしたりするなど、子どもたちの興味関心の高い運動や季節に合った運動などに積極的に取り組んでいます。先日は、東富水小学校の体育館をお借りして、バスケットボールにも挑戦してきました。



年長組では、5月にタマネギの収穫をしました。とても立派なタマネギがたくさんできたので、年少さんにもおすそ分けしました。6月には、ジャガイモの収穫をしました。やや小ぶりながら男爵イモとメークイーンを収穫し、こちらも年少さんにおすそ分けしました。そして、今年度はじめて、田植えに挑戦しました。ビニールシートを底に敷いた田んぼにおそるおそる入り、JAの方に教わりながらしっかりと苗を植えることができました。秋の稲刈りの時期がとても楽しみです。



子どもたちの安全をより確かなものにするため、防災・防犯・交通安全・感染予防等についての安全教育を毎月行っています。4月には地震対応、5月には火災対応、6月には幼小中合同の引き取り訓練（地震）と酒匂川決壊対応の避難訓練を実施しました。また、7月の防犯教室には、講師として神奈川県くらし安全課より2名の職員の方々にお越しいただき、誘拐されないようにするにはどうしたらよいかを教えていただきました。

重点課題と指導の方針②

『保護者・地域との連携』

- 幼児の成長をもとに喜び協力し合える信頼関係の構築
- 幼児理解・幼稚園理解と家庭教育の推進
 - ・ 情報発信、教育相談の充実
 - ・ 家庭とつながる活動の展開
 - ・ 楽しみながら参加できるPTA活動の工夫
- 幼児の学びをつなげる小学校との連携
- 保護者支援・子育て支援の充実
- 地域環境・専門機関との連携や活用
- スクールボランティアの活用



幼稚園関係者委員会を開催しました

5月に幼稚園関係者委員会を開催しました。この会は、園の運営がしっかりと行えているかについて、参観や話し合いを通じて協議する会です。東富水小学校長、東富水地区自治会連合会長、主任児童委員、保護者と教師の会会長にご出席いただきました。ありがとうございました。

「保護者と教師の会」の役員会では、毎回、子どもたちの園生活を豊かなものにするために、よりよい活動をしていこうと、積極的な意見が交わされています。また、係活動やボランティア活動も盛んで、作物の収穫時やプール時の水遊び、ボディペインティングなどでは、子どもたちが安全に楽しく活動することができました。ありがとうございました。今後も、図書を読み聞かせや清掃活動など、様々な係活動やボランティア活動がありますが、よろしくお願いいたします。

重点課題と指導の方針③

『教職員の資質・能力の向上』

- 一人一人の発達や特性を捉えたきめ細やかな援助
 - ・教育課程、指導計画、アプローチカリキュラム、支援計画等、実態に応じた見直しと立案
- 幼児の思いに寄り添うインクルーシブ教育の推進
- ICTの活用や事務分掌の精査による効率的な仕事の推進
- チーム保育の実践
- 園内研究並びに自己課題に対する研究の推進、自己研鑽による保育スキルの向上



7月、講師として小田原短期大学保育科の教授をお招きし、教職員の資質・能力の向上をめざして園内保育研究会を開きました。子どもたちの様子と教師の支援の仕方を参観していただき、午後の協議会でご指導いただきました。今の研究の方向性でよいとお墨付きをいただくと共に、子どもたちに「問題解決能力」を身につけさせてほしいとお話がありました。今後も「幼児が主役の保育について考える」を職員一同で目指していきます。

安全で楽しい夏休みをお過ごしください

3つの「あ」で安全で楽しい夏休みを過ごしましょう。3つの「あ」で始まる言葉とは…

あいさつ

3つの「あ」の1つ目は「あいさつ」です。夏休み中にどこかへ出かけたり、親戚の人に会ったりと、いろいろな人に出会うことと思います。みなさんの成長した姿を見ていただくためにも、しっかりとあいさつしましょう。

あんぜん

2つ目は「あんぜん」です。交通事故や水の事故にあわないように、また、知らない人について行かないように、家族との約束を守り、気持ちよく、安全に過ごせるようにしてほしいです。

ありがとう

3つ目は「ありがとう」です。みなさんの家族やまわりの人は、みなさんが楽しい夏休みを過ごせるようにと考えてくれています。いつも感謝の気持ちを忘れず、「ありがとう」と言えるようにしましょう。

3つの「あ」を大切にすれば、これまで以上に楽しい夏休みになると思います。

